

蔵の一枚

第36回 中嶋嶺雄

MINEO NAKAJIMA

●東京外国語大学教授



当時、中嶋さんは東京外国語大学の助手で、公務員の中国渡航に政府の許可がなかなかおりなかった

紅衛兵と一緒にバイオリンを弾く

今

からちようど四半世紀前の夏、中国では文化大革命が起こって、紅衛兵たちがいたるところに進出し、大騒ぎになった。その文革渦中の中国を、一九六六年十一月に私は初めて訪れた。

広州、北京、南京などを巡って上海に来たとき、工業展覧会場で中国製のバイオリンを見つけたので、どんな音色がするのか試してみたくなり、ピアノの弾ける服務員(彼女もたぶん紅衛兵)の伴奏で毛沢東讃歌の「東方紅」を即興で弾いたところ、取り囲んだ紅衛兵たちからやんやの喝采を浴びた。文革中国に全世界が驚き、論議が沸騰するなかで、紅衛兵と一緒にバイオリンを弾いた外国人は、あるいは私一人だけかもしれない。なにしろ当時は、ベートーベンもブラームスもブルジョア芸術だと批判され、演奏も禁じられて、江青女史指導下の革命芸術オンパレードだったのだから。

「東方紅」のメロディーはもともと陝西の民謡から採った美しいものなのに、中国ではもう誰も歌わなくなってしまった。

この写真は私個人にとっても貴重な同時代史の証明なので、たまたまこの十一月下旬に出た私の随筆集「リヴ オフ のオペラ座」(文藝春秋刊)にも収めることにした。



木よりも木らしい、石に住む。



私たちの国は、木の国なのである。松、杉、檜、樺、欅など、建築、加工に適した木材は多い。同じ、木々の豊かな国、スウェーデンで生まれ、私たち住友金属鉱山が開発してきた建築材料がある。ALCシボレックスがそれだ。ケイ石や石灰、セメントなどで造られる。耐火性に優れ、軽量で強い。高い断熱性を持ち、湿度調整にも効率が良い。結露とは無縁で、しかも音を伝えにくい。木よりも木の良さを持ち、さらに木の弱点をカバーしている。石を主原料とした現代の木材、シボレックス。今、私たちは、このシボレックスと重量鉄骨を組み合わせた、21世紀のコンセプト住宅、スペリオホームを誕生させ、新しい住文化創造のため、ライフ&スペースの分野を、積極的に切り拓いています。

(時を超えてゆく、技術があります。)



住友金属鉱山株式会社

※この広告について、あなたの声をお聞かせください

住友金属鉱山株式会社総務部広報室 〒105東京都港区浜崎5丁目11番3号 ☎03(3436)7701へ。